

クリーンプラネット、量子水素エネルギーの社会実装を本格加速

— 戦略的資本参画を得て、次世代エネルギーのグローバル展開へ —

株式会社クリーンプラネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：吉野 英樹、以下「クリーンプラネット」）は、次世代クリーンエネルギーである量子水素エネルギー（Quantum Hydrogen Energy）の社会実装および事業成長を一層加速させるため、肥銀キャピタルが運営する「肥銀ベンチャー3号投資事業有限責任組合（通称：肥銀ベンチャー3号ファンド）」を通じて、クリーンプラネットに対し、第三者割当増資による戦略的出資（出資額：約5億円）を行うことについて合意いたしました。

本件は、クリーンプラネットが長年にわたり蓄積してきた科学的検証、知的財産、商用化準備の進展が評価されたものであり、同社が本格的な事業拡大フェーズへ移行したことを示す重要なマイルストーンとなります。

■ エネルギー需給構造の転換期における「現実解」

生成 AI の急速な普及、半導体製造の高度化、AI データセンターの増設を背景に、世界の電力・熱需要は構造的な拡大局面に入っています。こうした中で、安定供給・脱炭素・経済合理性を同時に満たすベースロードエネルギーの確立は、産業界・政策当局に共通する喫緊の課題です。

クリーンプラネットが開発する量子水素エネルギーは、

CO₂を排出せず

必要な水素量は極めて微量

高い安全性と連続運転性

という特性を持ち、「理論」ではなく「実装可能な解」として、産業用途を中心に強い関心を集めています。

■ 10 年超の研究開発と、商用化フェーズへの移行

クリーンプラネットは 2015 年より東北大学との共同研究を通じて基礎研究を重ね、2020 年以降は量産・実装を前提とした商用化開発フェーズへ本格移行しました。

現在までに世界 35 か国・128 件の特許を取得し、技術・知財の両面で明確な参入障壁を構築。

日本発の次世代エネルギー技術として、グローバル展開を見据えた事業基盤が整いつつあります。

■ 戦略投資が示す「第三者評価」と次の成長段階

今回の資本参画は、地域金融グループの投資会社として数多くの成長企業を支援してきた肥銀キャピタルが、

技術の実現性

商用化の蓋然性

中長期の市場ポテンシャル

を総合的に評価したものです。

クリーンプラネットは本出資を起点に、

実証・量産体制の強化

国内外パートナーとの連携拡大

複数産業領域への展開

を加速し、次の成長段階に向けた資本・事業戦略を段階的に推進してまいります。

■ コメント

株式会社クリーンプラネット 代表取締役社長 吉野 英樹

このたび、肥銀キャピタル様より戦略的なご参画を賜りましたことは、私たちが積み重ねてきた研究開発と商用化への取り組みが、客観的に評価された証であり、大きな励みとなっております。

量子水素エネルギーは、日本発で世界のエネルギー構造を変え得るポテンシャルを持つ技術です。今回の資本参画を一つの通過点として、社会実装とグローバル展開を一層加速させてまいります。

<株式会社クリーンプラネットの概要>

代表者 : 吉野 英樹 (ヨシノ ヒデキ)

所在地 : 東京都千代田区丸の内一丁目 5 番 1 号 新丸の内ビルディング 10 階

設立 : 2012 年 9 月

資本金 : 3 億 6,448 万円、 資本剰余金: 14 億 3,056 万円 (2026 年 1 月末現在)

主要事業 : 量子水素エネルギーを活用した、産業および社会インフラ向けクリーンエネルギーシステムの商用開発・導入・量産展開

Web サイト : <https://www.cleanplanet.co.jp/>

本件のお問い合わせ先：

株式会社クリーンプラネット PR 室 pr@cleanplanet.co.jp